

2025年2月7日

## 2025年3月期 第3四半期連結業績の概要

### <2025年3月期 第3四半期業績:連結売上収益>

国内連結販売は、フォレスターなどの登録車販売を中心に堅調に推移し、前年同期比 0.5%増の 75 千台となりました。海外連結販売は、主要市場の米国における小売販売が 29 か月連続で前年超えを達成したものの、海外市場における足元の販売状況や在庫台数などを踏まえた出荷を進めてきたことにより、同 4.3%減の 632 千台となり、販売会社に対する卸売などの全世界連結販売台数は同 3.8%減の 707 千台となりました。

なお、上記に伴い、国内生産は同 6.1%減の 461 千台、海外生産は同 0.6%減の 264 千台となり、世界生産台数は同 4.2%減の 725 千台となりました。

連結売上収益は、海外の厳しい競争環境による販売奨励金の増加および販売台数の減少などがあったものの、価格改定や為替変動による増収効果などにより、同 1.1%増の 3 兆 5,363 億円となりました。

### <2025年3月期 第3四半期業績:連結損益>

連結損益についても、連結売上収益同様の理由により、営業利益は前年同期比 0.5%減の 3,692 億円、税引前四半期利益は同 2.4%増の 4,260 億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同 6.2%増の 3,174 億円となりました。

### <2025年3月期 通期連結業績見通し>

生産台数および販売台数は、足元の販売が概ね計画通りに推移していることを踏まえ、前回発表値\*を据え置きます。一方、通期連結業績見通しについては、円安影響などを織り込み、売上収益 4 兆 7,600 億円、営業利益 4,300 億円、税引前利益 4,800 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 3,300 億円に上方修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥153/US\$、¥164/EURO です。

#### \* 前回(2024年11月1日)発表の通期連結業績見通し

連結売上収益 4 兆 7,200 億円

営業利益 4,000 億円、税引前利益 4,200 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 3,000 億円

想定為替レート ¥149/US\$、¥162/EURO

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



< 2025年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2024年3月期 第3四半期累計期間 (2023. 4. 1-2023. 12. 31)		当期実績 2025年3月期 第3四半期累計期間 (2024. 4. 1 — 2024. 12. 31)		前期実績 2024年3月期 通期 (2023. 4. 1-2024. 3. 31)		当期予想 2025年3月期 通期 (2024. 4. 1 — 2025. 3. 31)		前回当期予想 2025年3月期 通期 (2024. 4. 1 — 2025. 3. 31)	
			増減	増減率			増減	増減率		
売上収益	34,964	35,363	399	1.1	47,029	47,600	571	1.2	47,200	
日本	4,537	4,738	201	4.4	6,275	6,724	449	7.2	6,710	
海外	30,427	30,626	199	0.7	40,754	40,876	122	0.3	40,490	
営業利益	3,710	3,692	-18	-0.5	4,682	4,300	-382	-8.2	4,000	
利益率	10.6	10.4			10.0	9.0			8.5	
税引前利益*1	4,162	4,260	98	2.4	5,326	4,800	-526	-9.9	4,200	
利益率	11.9	12.0			11.3	10.1			8.9	
親会社の所有者に帰属する 当期利益*2	2,989	3,174	185	6.2	3,851	3,300	-551	-14.3	3,000	
利益率	8.5	9.0			8.2	6.9			6.4	
営業利益増減要因			為替レート差 売上構成差等 諸経費等 原価影響 研究開発費 その他	1,126 -725 -252 -93 -72 -2			為替レート差 諸経費等 売上構成差等 研究開発費 原価影響 その他	934 78 -927 -290 -188 11		
為替レート	143円/US\$ 153円/EURO	152円/US\$ 163円/EURO			144円/US\$ 154円/EURO	153円/US\$ 164円/EURO			149円/US\$ 162円/EURO	
設備投資	1,234	1,091			1,675	1,800			1,800	
減価償却費	720	714			974	1,000			1,000	
研究開発支出*3	909	1,052			1,306	1,550			1,550	
有利子負債残高	3,531	3,975			3,995	-			-	
業績評価			・3期連続の増収 ・3期振りの営業利益減益 ・3期連続の税引前利益、当期利益増益 ・3期振りの連結販売台数減				・3期連続の増収 ・3期振りの各利益減益 ・3期振りの連結販売台数減			
日本販売台数合計	75	75	0	0.5	99	112	14	13.7	112	
登録車	64	66	1	2.2	87	98	11	13.2	98	
軽自動車	11	10	-1	-9.6	12	14	2	17.2	14	
海外販売台数合計	660	632	-29	-4.3	878	838	-40	-4.5	838	
北米	567	557	-10	-1.7	763	736	-27	-3.5	732	
欧州	21	16	-5	-23.6	27	22	-5	-19.9	-	
中国	6	2	-3	-57.0	6	3	-3	-53.7	3	
その他	67	56	-10	-15.7	81	76	-4	-5.5	-	
連結販売台数総計	736	707	-28	-3.8	976	950	-26	-2.7	950	
生産台数合計	757	725	-32	-4.2	970	950	-20	-2.0	950	
日本	491	461	-30	-6.1	602	-	-	-	-	
米国	266	264	-2	-0.6	368	-	-	-	-	
売上収益 事業別										
自動車	34,215	34,563	348	1.0	45,936	46,330	394	0.9	45,887	
航空宇宙	711	761	50	7.1	1,043	1,220	177	17.0	1,264	
その他	38	39	1	2.8	50	50	0	0.2	49	
営業利益 事業別										
自動車	3,671	3,693	22	0.6	4,615	4,260	-355	-7.7	3,953	
航空宇宙	-3	-52	-49	-	27	-10	-37	-	7	
その他	38	46	8	20.0	36	50	14	37.6	40	
消去・全社	4	5	1	27.9	4	-	-	-	-	

\*1. 四半期においては、「税引前四半期利益」を示す。

\*2. 四半期においては、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を示す。

\*3. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ自動車株式会社向けGR86の台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。